

悠久二千有余年 「会津」地名発祥の伝承社

岩代國一之宮 会津総鎮守
伊佐須美神社
福島県大野会津若松市西町4-3-77
TEL 0242-54-5050
https://isasumi.or.jp/

安全!安心!会津産をそのまんま!

JA会津よっぴ
JA会津よっぴ 農産物直売所
〒965-0025 福島県会津若松市西町4-1-1
TEL 0242-24-0831

会津西方の霊地

大山祇神社
〒965-0025 福島県会津若松市西町4-1-1
TEL 0241-45-2323
http://www.oyamayama.net

日本遺産認定会津の三十三観音めぐり

立木千手観音
例大祭 8月17・18日 (午前10時・午後2時)
〒966-6584 福島県柳津市会津坂下町字松山2-944
TEL 0242-83-3171

伝統工芸と手打そばの店

しおやくら
TEL 0242-62-2330
TEL 0242-62-4021 (夜間)
FAX 0242-62-4659

旅の思い出に体験はいかが

藤組工教室
TEL 0242-62-5055

夏季登山リフトで沼ノ平散策を楽しもう!

INAWASHIRO
TEL 0242-62-5100

赤べこ伝説発祥の地・会津柳津

柳津温泉 柳津名物「あわまんじゅう」
TEL 0241-42-2114

柳津名物儀式用折調達

小池菓子舗
TEL 0241-42-2554

新宮野神社 長床

TEL 0241-23-0775

会津野神社 土津神社

TEL 0242-62-2160

福島県観光マップ

■大山祇神社 ① 遙拝路から御本社は約4kmの道のりがあります。トレンギングコースとして親しまれる参道には、穴太の道祖神が杉木参詣者の心を和ませています。御本社は丸い道のりとなり、飲み物を持参のうさぎの道祖神が、少ない服装と薄い靴を履いてお参拝ください【西会津町】

■大内宿 ① 江戸時代に取り残されたかたまりの山あいに佇んでいた町。江戸時代には会津と江戸を結ぶ下野街道の宿場町であった。茅葺屋根を連ね、江戸時代にタイムスリップしたかのような情景を感じる。【下郷町】

■喜多方市 おたき蔵通り ① 戦国時代の町割し始め、江戸時代は定海市場として賑わった小田付地区。同時に豊富な伏流水と土質の保存性の高さを生かした酒・味噌・醤油の醸造業が発展しました。生業に合わせた特産的な産物が数多くあり、平成30年に重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けています。【喜多方市】

■土津神社 ① 会津藩祖(保科正室)をお祀りした神社。春は、雄野湖から寄贈された、夕方のコヒナグララ、秋は真っ赤な紅葉が境内を彩り、境内外から多くの観光客が訪れる場所となっています。1度の祭礼は、心洗われ杉並木と玉石の参道があり、名物が降に懸念場所となっています。【猪苗代町】

■猪苗代湖と白鳥 ① 日本百名湖の磐梯湖が映るほどきれいな猪苗代湖。湖には、猪苗代湖の白鳥が、夏は多く見られ、冬は冬鳥とも呼ばれています。【猪苗代町】

■天鏡湖 ① 国指定重要文化財。有栖川仁親王殿下によって建てられ、大正天皇が命名された洋館です。皇族が築いた猪苗代湖の白鳥の家。ここでは、この地に別荘を建設することを決定しました。ルネッサンス様式の意匠を凝らした館内は、明治の香りを今に伝えています。【猪苗代町】

■中津川深谷 ① 国道115号線から磐梯湖へ向かう途中の磐梯湖展望台の最大の観光ポイントが「中津川深谷」です。中津川深谷は、中津川に畔に建ち、整備されている遊歩道を歩くと、簡単に深谷に下ることが出来ます。紅葉の季節は特に美しく、多くのカメラマンが訪れます。【猪苗代町】

■会津若松市 ① 会津若松市は、日本一社として、延喜式神名帳、陸奥国百部の一です。五十二代継体天皇の御代仁二年(811年)に鎮座し、後に会津藩初代藩主・保科正公が社殿の再建、神庫の増設を行いました。境内には、創建から1000年を記念する木蓮が咲き誇ります。【会津若松市】

世界のガラス館

TEL 0242-63-0100

江戸時代の町並みと宿場の面影を残す

大内宿
TEL 0241-68-3611

喜多方観光物産協会

TEL:0241-24-5200

曹洞宗 金川寺

TEL(0241)27-2193

搦屋

TEL 024-24-2520

会津松平庭園 御薬園

TEL 0242-27-2472

達沢不動滝

TEL 0242-62-2048